

○歯科保存学 2 : 623-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	*小方 頼昌 (歯周治療学)

学修目標 (G I O) と単位数	<p>・単位数：2単位</p> <p>・学修目標 (G I O) : 歯科保存学は、う蝕、歯髄疾患および歯周病などに陥った歯および歯を支える歯周組織を治療し、口腔の機能を維持・回復するための治療学であるとともに、これらの疾患に罹患しないように予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存治療は日常臨床で、高頻度に行う治療であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および治療方針の決定し、治療を行い、さらに経過（予後）の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に実施できる様に、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するために、正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応、治療に用いる材料など、今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保存修復学の評価 講義・実習に関する平常試験を1回実施して評価する。正当な理由がある場合は追試験を実施する。 授業時間数から勘案し、7%を保存修復学の成績割合とする。 2. 歯内療法学の評価（保存学2の1/3の評価分）。 平常試験①、②、実習試験による評価。原則的に追再試験は実施しない。 授業時間数から勘案し、60%を歯内療法学の成績割合とする。 3. 歯周治療学の評価保存学2の1/3の評価分）。 平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。 授業時間数から勘案し、33%を歯周治療学の成績割合とする。 4. 1/5以上欠席した場合、評価点は0～60点とする。

歯周治療学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	通年	*小方 頼昌 (歯周治療学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	<p>2016年の歯科疾患実態調査の結果、8020達成者は51.2%で、2011年の40.2%から急増した。4 mm以上の歯周ポケットを有する者の割合は年齢が増すにつれて高い傾向を示し、45歳以上では50%以上を占め、全年齢層の約40%に歯肉出血が認められる。8020達成者の増加からも、歯周病に罹るリスクを有する歯の数が増加している。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように、歯周病を予防または治療することを目的とする。重度慢性歯周炎または侵襲性歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な歯周病検査の実施および診断、治療計画の立案と歯周基本治療および歯周外科治療を行うことが要求される。そのために、歯周治療学の知識、技能を習得する。4年次では、歯周外科治療、メンテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピーについて学び、次年度の臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。</p>
担当教員	<p>*小方 頼昌、*中山 洋平、*高井 英樹、*高井 瑞徳、*山口 亜利彩、*齋藤 由未、*武田 萌、※*勝又 剛、※*小林 諒、※*中川 就太、※*福岡 菜見子、※*細野 恒太、※*山崎 陽祐、※*山崎 真依、*守屋 叡、*坂本 昌之、*山田 憲、*小鹿山 希、*目澤 優、*鶴屋 祐人、若林 健史、鈴木 真名、※横田 祐司、齋藤 綾一朗、古瀬 信久、※松村 浩禎、岩井 泰伸、能田 佳佑、中嶋 祐、※山之内 文彦、澁川 直也、佐々木 庸子、金 東淳、金子 博寿、加藤 直子、岡野 千春、岩佐 俊夫、池田 寛、荒木 正大、新井 政人、原山 周一郎、*吉野 祥一、北澤 伊</p>
教科書	<p>臨床歯周病学 第3版 村上伸也ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 歯周治療学講座編</p>
参考図書	<p>ザ・ペリオドントロジー 第4版 沼部幸博ほか 永末書店 歯周外科 見て学んで始めるガイド 小方頼昌 編著 クインテッセンス出版 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一ほか 西村書店 ラティチャックカラーアトラス歯周病学 第3版 日本臨床歯周病学会 永末書店</p>
実習器材	<p>顎歯模型、歯周外科治療用器具一式</p>
評価方法 (E V)	<p>平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。</p>

<p>学生への メッセージ オフィスアワー</p>	<p>歯周治療は歯科臨床の基礎であり、日常臨床で高頻度で行われている治療である。適切な診断、治療が実施できるためには、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要になる。試験間際のための学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にファントム（マネキン）実習を行う。したがって、頭髮、爪、服装など歯科医療人として恥ずかしくない、清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。</p>
-----------------------------------	---

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/04/09 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義(1) 初診からサポータ イペリオドンタ ルセラピーまで(1)	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータイペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の流れについて事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の流れについて事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*小方 頼昌
2024/04/10 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 1-(9) 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 3. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 金 東淳 澁川 直也 金子 博寿 池田 寛 *目澤 優 *鶴屋 祐人 北澤 伊
2024/04/10 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周実習 1-(9) 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/04/10 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 1-(9) 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 3. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	<p>*齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 金 東 澁川 直也 金子 博寿 池田 寛 *目澤 優 *鶴屋 祐人 北澤 伊</p>
2024/04/16 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(2) 初診からサポータ ィブペリオドンタル セラピーまで(2)	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータィブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の進め方について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の進め方について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	<p>*中山 洋平</p>
2024/04/17 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 2-(10) 新付着術（ENAP） 縫合	<p>【授業の一般目標】 新付着術（ENAP）の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術（ENAP）の術式を説明できる。 3. 縫合法の種類を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：新付着術（ENAP）の術式について事前学習する。 事前学習時間：30分 新付着術（ENAP）の術式と縫合法の種類を予習する。（目安時間 60分） 事後学習項目：新付着術（ENAP）の縫合法について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/04/17 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 2-(10) 新付着術 (ENAP) 縫合	<p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 新井 政人 原山 周一郎 能田 佳佑 岩井 泰伸 *吉野 祥一
2024/04/17 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周講義(1) 初診からサポータ ィブペリオドンタ ルセラピーまで(1)	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータィブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の流れについて事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の流れについて事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亞利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿 山希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 新井 政人 原山 周一郎 能田 佳佑 岩井 泰伸 *吉野 祥一
2024/04/23 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義(3) 初診からサポータ ィブペリオドンタ ルセラピーまで(3)	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータィブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p>	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/04/23 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(3) 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで(3)	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*高井 英樹
2024/04/24 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習3-(11) 咬合治療 暫間 固定 根分岐部病 変の処置 歯肉剥離掻爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合調整の方法を説明できる。 3. 暫間固定の目的を説明できる。 4. 根分岐部病変の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 咬合性外傷に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 山之内 文彦
2024/04/24 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習3-(11) 咬合治療 暫間 固定 根分岐部病 変の処置 歯肉剥離掻爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合調整の方法について説明できる。 3. 暫間固定の目的を説明できる。 4. 根分岐部病変の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 咬合性外傷に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 山之内 文彦
2024/04/30 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(4) 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで(4)	【授業の一般目標】 初診からサポータイブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	*山口 亜利彩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/04/30 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(4) 初診からサポーター イブペリオドンタ ルセラピーまで(4)	2. 歯周治療の流れを理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	* 山口 亜利彩
2024/05/01 (水) 3時限 13:10～14:40	歯肉実習 4-(12) 歯肉剥離掻爬手術 (2) 剥離、掻爬、スケー リング・ルートブ レーニング、骨整 形、縫合	【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離掻爬手術に使用する器具の名称と使用法を説明できる。 歯槽骨に対する処置 (骨整形、骨削除、骨移植) について学ぶ。歯肉剥離掻爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 3. 歯肉剥離掻爬手術に使用する器具を説明できる。 4. 歯肉剥離掻爬手術の縫合法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	* 小方 頼昌 * 中山 洋平 * 高井 英樹 * 高井 瑞徳 * 山口 亜利彩 * 齋藤 由未 * 武田 萌 * 勝又 剛 * 小林 諒 * 中川 就太 * 福岡 菜見子 * 細野 恒太 * 山崎 真依 * 山崎 陽祐 * 守屋 叡 * 坂本 昌之 * 山田 憲 * 小方 山 希 * 若林 健史 * 古瀬 信久 * 岩佐 俊夫 * 横田 祐司 * 齋藤 綾一朗 * 松村 浩植
2024/05/01 (水) 4時限 14:50～16:20	歯肉実習 4-(12) 歯肉剥離掻爬手術 (2) 剥離、掻爬、スケー リング・ルートブ レーニング、骨整 形、縫合	【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離掻爬手術に使用する器具の名称と使用法を説明できる。 歯槽骨に対する処置 (骨整形、骨削除、骨移植) について学ぶ。歯肉剥離掻爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 3. 歯肉剥離掻爬手術に使用する器具を説明できる。 4. 歯肉剥離掻爬手術の縫合法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事前学習する。	* 小方 頼昌 * 中山 洋平 * 高井 英樹 * 高井 瑞徳 * 山口 亜利彩 * 齋藤 由未 * 武田 萌 * 勝又 剛 * 小林 諒 * 中川 就太 * 福岡 菜見子 * 細野 恒太 * 山崎 真依 * 山崎 陽祐 * 守屋 叡

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/05/01 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周実習 4-(12) 歯肉剥離掻爬手術 (2) 剥離、掻爬、スクー リング・ルートブ レーニング、骨整 形、縫合	事前学習時間：30分 事後学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法） 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎
2024/05/07 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義(5) 初診からサポータ ィブペリオドンタ ルセラピーまで(5)	【授業の一般目標】 初診からサポータィブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の進め方について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の進め方について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*齋藤 由未
2024/05/08 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 5-(13) 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植 術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：遊離歯肉移植術の適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：遊離歯肉移植術の術式について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彰 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/05/08 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周実習5-(13) 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	<p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療(歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	中嶋 祐 加藤 直子
2024/05/08 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周実習5-(13) 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 遊離歯肉移植術の適応について事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 遊離歯肉移植術の術式について事後学習する。 事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療(歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿 山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 中嶋 祐 加藤 直子
2024/05/14 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類を説明できる。歯周形成外科手術の適応と禁忌を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周形成外科手術の種類、適応と禁忌を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 歯周形成外科手術について事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 歯周形成外科手術について事後学習する。 事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療(歯周形成手術)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患</p>	*小方 頼昌 鈴木 真名

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/05/14 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*小方 頼昌 鈴木 真名
2024/05/15 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周実習6-(14) 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 結合組織移植術の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：結合組織移植術に関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：結合組織移植術に関して事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療 (歯周形成手術) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿 山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 荒木 正 加藤 直子
2024/05/15 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周実習6-(14) 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 結合組織移植術の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：結合組織移植術に関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：結合組織移植術に関して事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療 (歯周形成手術) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿 山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 荒木 正 加藤 直子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/05/21 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義 (6) 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで(6)	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータイブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*高井 瑞徳
2024/05/22 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 7-(15) 歯周組織再生誘導 法 画像診断 SP T・メンテナンス	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法的位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータイブペリオドンタルセラピー (SPT) とメンテナンスの重要性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 3. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周組織再生誘導法の適応およびSPTとメンテナンスの違いについて事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周組織再生誘導法とSPTおよびメンテナンスについて事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿 山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 山之内 文彦 原山 周一郎 佐々木 庸子 岡野 千春 *吉野 祥一 加藤 直子
2024/05/22 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 7-(15) 歯周組織再生誘導 法 画像診断 SP T・メンテナンス	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法的位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータイブペリオドンタルセラピー (SPT) とメンテナンスの重要性について理解する。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/05/22 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習7-(15) 歯周組織再生誘導法 画像診断 SP T・メンテナンス	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 3. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周組織再生誘導法の適応およびSPTとメンテナンスの違いについて事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周組織再生誘導法とSPTおよびメンテナンスについて事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。</p>	*武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史 古瀬 信久 岩佐 俊夫 横田 祐司 齋藤 綾一朗 松村 浩禎 山之内 文彦 原山 周一郎 佐々木 庸子 岡野 千春 *吉野 祥一 加藤 直子
2024/05/28 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周まとめ試験1 解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の進め方について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の進め方について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希
2024/05/29 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習8-(16) 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/05/29 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 8-(16) 実技試験 歯周治療学総括講義	アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史
2024/05/29 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 8-(16) 実技試験 歯周治療学総括講義	【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希 若林 健史
2024/08/20 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周まとめ試験2 解説講義	【授業の一般目標】 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 陽祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/08/20 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周まとめ試験2 解説講義	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *守屋 陽祐 *坂本 徹 *山田 昌憲 *小鹿山 希
2024/12/02 (月) 2時限 10:40~12:10	歯周治療学 歯周 基本治療 歯周病 検査、ブラッシング 指導	【授業の一般目標】 歯周病検査の結果、口腔清掃状態を評価し、検査結果と口腔清掃状態を説明できる。種々のブラッシング法と適した歯ブラシの選択し、使用法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病検査が実施でき、検査結果を説明できる。 3. 口腔清掃状態の評価と、状態を説明できる。 4. ブラッシング法の種類を列挙できる。 5. 歯ブラシの選択と使用法を説明できる。 6. ブラッシングを模擬患者に実践させることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病検査の項目とブラッシング法を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 b 歯周組織の検査 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ④口腔細菌、プラーク (口腔バイオフィルム) 及び歯石を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。	*小方 頼昌
2024/12/02 (月) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学 歯周 基本治療、ブラッ ッシング指導	【授業の一般目標】 口腔清掃状態の評価し、口腔清掃状態を模擬患者に説明できる。種々のブラッシング法と適した歯ブラシの選択し、使用法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔清掃状態の評価ができる。 3. 口腔清掃状態を模擬患者に説明できる。 4. ブラッシング法の種類を列挙できる。 5. 歯ブラシの選択と使用法を説明できる。 6. ブラッシングを模擬患者に実践させることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室	*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *齋藤 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *守屋 陽祐 *坂本 徹 *山田 昌憲 *小鹿山 希

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/02 (月) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学 歯周 基本治療 ブラッ シング指導	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ④口腔細菌、プラーク (口腔バイオフィーム) 及び歯石を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *山崎 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希</p>
2024/12/02 (月) 4時限 14:50~16:20	歯周治療学 歯周 基本治療 ブラッ シング指導	<p>【授業の一般目標】 口腔清掃状態の評価し、口腔清掃状態を模擬患者に説明できる。種々のブラッシング法と適した歯ブラシの選択し、使用法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔清掃状態の評価ができる。 3. 口腔清掃状態を模擬患者に説明できる。 4. ブラッシング法の種類を列挙できる。 5. 歯ブラシの選択と使用法を説明できる。 6. ブラッシングを模擬患者に実践させることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ④口腔細菌、プラーク (口腔バイオフィーム) 及び歯石を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *山口 亜利彩 *山崎 由未 *武田 萌 *勝又 剛 *小林 諒 *中川 就太 *福岡 菜見子 *細野 恒太 *山崎 真依 *山崎 祐 *守屋 叡 *坂本 昌之 *山田 憲 *小鹿山 希</p>
2024/12/09 (月) 2時限 10:40~12:10	歯周治療学 歯周 基本治療 歯ブラ シンの特徴、歯磨剤 の成分、歯周病の 病状	<p>【授業の一般目標】 口腔内写真から歯周病の病態を把握し、エックス線写真および歯周病検査結果から歯周病の病状を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯ブラシの特徴について理解する。 3. 歯磨剤中の成分について理解する。 4. 口腔内写真所見から、プラーク付着および歯石沈着を説明できる。 5. 歯周病検査項目の説明ができる。 6. 歯周病検査項目の結果について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯ブラシの特徴、歯磨剤の成分、ブラッシング法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式</p>	<p>*小方 頼昌</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/09 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学 歯周 基本治療 歯プラ ンの特徴、歯磨剤 の成分、歯周病の 病状	c 歯周治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 c 口腔清掃指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明で きる。	*小方 頼昌
2024/12/09 (月) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学 歯周 基本治療 歯周病 の病状説明	【授業の一般目標】 口腔内写真から歯周病の病態を把握し、エックス線写真および歯周病検査結果 から歯周病の病状を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔内写真所見から、歯肉の炎症症状を説明できる。 3.口腔内写真所見から、プラーク付着および歯石沈着を説明できる。 4.エックス線写真から、歯周病による骨吸収について説明できる。 5.歯周病検査項目の説明ができる。 6.歯周病検査項目の結果について説明できる。 7.口腔内写真、エックス線写真および歯周病検査結果について、模擬患者に説 明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明で きる。	*高井 英樹
2024/12/09 (月) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学 歯周 基本治療 歯周病 の病状説明	【授業の一般目標】 口腔内写真から歯周病の病態を把握し、エックス線写真および歯周病検査結果 から歯周病の病状を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔内写真所見から、歯肉の炎症症状を説明できる。 3.口腔内写真所見から、プラーク付着および歯石沈着を説明できる。 4.エックス線写真から、歯周病による骨吸収について説明できる。 5.歯周病検査項目の説明ができる。 6.歯周病検査項目の結果について説明できる。 7.口腔内写真、エックス線写真および歯周病検査結果について、模擬患者に説 明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/09 (月) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学 歯周 基本治療 歯周病 の病状説明	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。</p>	*高井 英樹
2024/12/16 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学 歯周 基本治療 スケー リング・ルートプ レーニング	<p>【授業の一般目標】 適切な操作でスケーリング・ルートプレーニングを行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯肉縁上縁下の歯石沈着を診査できる。 2. 患部に適したスケーラーを選択することができる。 3. 適切に手用スケーラーを把持することができる。 4. 適切な位置にレストを置くことができる。 5. 患部に適切な角度でスケーラーを当てることできる。 6. 適切な方向で、スケーラーをストロークできる。 7. 歯根面の滑沢化を確認することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平
2024/12/16 (月) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学 歯周 基本治療 スケー リング・ルートプ レーニング	<p>【授業の一般目標】 適切な操作でスケーリング・ルートプレーニングを行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯肉縁上縁下の歯石沈着を診査できる。 2. 患部に適したスケーラーを選択することができる。 3. 適切に手用スケーラーを把持することができる。 4. 適切な位置にレストを置くことができる。 5. 患部に適切な角度でスケーラーを当てることできる。 6. 適切な方向で、スケーラーをストロークできる。 7. 歯根面の滑沢化を確認することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/16 (月) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学 歯周 基本治療 スケー リング・ルートプ レーニング	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。	*中山 洋平
2024/12/16 (月) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学 歯周 基本治療 スケー リング・ルートプ レーニング	<p>【授業の一般目標】 適切な操作でスケーリング・ルートプレーニングを行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯肉縁上縁下の歯石沈着を診査できる。 2. 患部に適したスケーラーを選択することができる。 3. 適切に手用スケーラーを把持することができる。 4. 適切な位置にレストを置くことができる。 5. 患部に適切な角度でスケーラーを当てることができる。 6. 適切な方向で、スケーラーをストロークできる。 7. 歯根面の滑沢化を確認することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平

保存修復学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	通年	*内山 敏一 (保存修復学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	保存修復学は、歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。 4年次では、3年次で学修した歯科保存学1の基礎的知識の深化と確立を図るとともに、5次年からの充実した臨床実習に向け、臨床術式や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	*小峯 千明、*内山 敏一、*神谷 直孝、*寺中 文子、*庫川 幸利
教科書	保存修復学 第7版 千田 彰、宮崎真至、林美加子、向井義晴、斎藤隆史 [編] 医歯薬出版
参考図書	保存修復学21 第六版 【監修】田上順次 奈良陽一郎 山本一世 斎藤隆史 永末書店
実習器材	修復基本セット、上下顎模型と頬粘膜ボックス、タービンバーセット、スチールバーセット、IPC法実習に使用した36う蝕人工歯、ラバーダムセット、レジン充填器2本、コンポジットレジン(フロアブル、ペースト) (上記の器材は、令和6年12月23日・令和7年1月20日の3・4時限目に実施する実習で使用する。)
評価方法 (EV)	保存修復における評価は、講義・実習に関する平常試験を1回実施し、これを成績評価とする。正当な理由がある場合は追試験を実施する。
学生への メッセージ オフィスアワー	【実務経験】小峯千明、内山敏一、神谷直孝は、日本歯科保存学会専門医・指導医として本学部付属病院での診療、歯科修復材料の基礎的研究や臨床的手法および付属病院に来院する患者の実態調査等を進めている。これまでに得られた知識、症例等に基づき分かりやすく講義・実習を行う。 5年次臨床実習において必要な保存修復学の基本的知識と実技に関する内容である。3年次で学んだ事項を繰り返し学修することによって知識の定着を図ることが大切である。 なお、オフィスアワーは講義日に関わらず教授室在席時間中であれば午後5時以降に実施する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/23 (月) 2時限 10:40~12:10	修復講義①: 保存修復学総論 ーう蝕の処置とう蝕象牙質の除去ー	<p>【授業の一般目標】 適切なう蝕象牙質の除去が行えるようになるために、エナメル質う蝕、象牙質う蝕の特徴とう蝕検知液を使用したう蝕象牙質の選択的除去に使用する回転切削器械および切削器具の使用法と術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. う蝕象牙質の外層と内層の臨床的特徴について説明できる。 3. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分け意義について説明できる。 4. う蝕象牙質の除去に使用する器具・器材を列挙できる。 5. 回転切削器械の種類と特徴について説明できる。 6. 回転切削器具の種類と特徴について説明できる。 7. う蝕検知液の正しい使用法を説明できる。 8. 回転切削器械・器具の正しい取り扱いについて説明できる。 9. 回転切削器械・器具によるう蝕象牙質の除去方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: う蝕検知液を使用したう蝕象牙質除去の術式と使用器具に関するデモ動画を視聴しておく。 ・事前学修時間: 20分 ・事後学修項目: 再度Webclassで視聴し復習する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の病因と病態を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む)を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。</p>	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/23 (月) 3時限 13:10～14:40	修復実習①：う蝕 検知液を用いたう 蝕象牙質除去の基 本術式	<p>【授業の一般目標】 う蝕象牙質の除去が適切に行えるようになるために、除去すべきう蝕象牙質の識別方法とう蝕除去に使用する切削器具の使用法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. う蝕象牙質の外層と内層を識別できる。 3. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分け意義について説明できる。 4. う蝕象牙質の除去に使用する切削器具を列挙できる。 5. 切削器具を使用して、う蝕象牙質の除去ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：う蝕検知液を使用したう蝕象牙質除去の術式と使用器具に関するデモ動画を視聴しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：再度デモ動画を視聴し復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 反転授業</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置 (コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復) を実施できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利
2024/12/23 (月) 4時限 14:50～16:20	修復実習①：う蝕 検知液を用いたう 蝕象牙質除去の基 本術式	<p>【授業の一般目標】 う蝕象牙質の除去が適切に行えるようになるために、除去すべきう蝕象牙質の識別とう蝕除去に使用する切削器具の使用法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. う蝕象牙質の外層と内層を識別できる。 3. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分け意義について説明できる。 4. う蝕象牙質の除去に使用する切削器具を列挙できる。 5. 切削器具を使用して、う蝕象牙質の除去ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：う蝕検知液を使用したう蝕象牙質除去の術式と使用器具に関するデモ動画を視聴しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：再度デモ動画を視聴し復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 反転授業</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/23 (月) 4時限 14:50～16:20	修復実習①: う蝕 検知液を用いたう 蝕象牙質除去の基 本術式	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置 (コンポジットレジン修復、グラ スアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復) を実施できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利
2025/01/20 (月) 2時限 10:40～12:10	修復講義②: 保存 修復学各論 一コ ンポジットレジン 修復一	【授業の一般目標】 単純窩洞のコンポジットレジン修復が適切に行えるようになるために、前準備、 接着処理、分割積層填塞、光照射、形態修正等の術式および使用する器具・器 材について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジンの種類と特徴について説明できる。 3. コンポジットレジン修復の臨床術式を説明できる。 4. コンポジットレジン修復に使用する器具・器材について説明できる。 5. コンポジットレジンと歯質接着メカニズムについて説明できる。 6. セルフエッチングプライマーによる歯面処理の目的と術式について説明でき る。 7. 回転切削器械・器具の適切な取り扱いについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 単純窩洞のコンポジットレジン修復をデモ動画で視聴してお く。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 再度デモ動画を視聴しておく。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説 明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明 できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	*神谷 直孝
2025/01/20 (月) 3時限 13:10～14:40	保存修復学平常試 験・解説講義	【授業の一般目標】 保存修復学講義および実習の範囲についてMCQによる試験および解説を行う。 【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕象牙質除去に使用する器具・器材について説明できる。 2. う蝕象牙質除去の術式について説明できる。 3. コンポジットレジン修復に使用する器具・器材の使用法について説明でき る。 4. コンポジットレジン修復の術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 修復講義・実習を復習しておく。 ・事前学修時間: 60分 ・事後学修項目: 試験問題の見直しを行う。 ・事後学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/01/20 (月) 3時限 13:10～14:40	保存修復学平常試験・解説講義	<p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置 (コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復) を実施できる。</p>	* 神谷 直孝
2025/01/20 (月) 4時限 14:50～16:20	修復実習②: 単純窩洞に対するコンポジットレジン修復の基本術式	<p>【授業の一般目標】 硬組織欠損に対する適切な修復処置が行えるようになるために、セルフエッチングプライマーシステムの使用手順、単純窩洞のレジン充填に使用する器具の使用法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復の臨床術式を説明できる。 3. セルフエッチングプライマーによる歯面処理が行える。 4. 単純窩洞に対するコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 単純窩洞のコンポジットレジン修復をデモ動画で視聴しておく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 再度デモ動画を視聴しておく。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 反転授業</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	* 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利

歯内療法学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	通年	*岡部 達 (歯内療法学)

学修ユニット学修目標 (GIO)	歯の痛みや歯肉の腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置が要求される。迅速にかつ的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法 of 知識、技能を習得する。 4年次では、次年度の充実した臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	*松島 潔、*岡部 達、*神尾 直人、*鈴木 誠、*石井 理裕、*深井 譲滋、*渡邊 昂洋、*倉持 光成、*古谷 夏子、*田中 眞治、*小泉 郁佳、*森川 加菜、*五味 博之、*高瀬 俊彦、*川島 正、*吉田 陽子、*菅原 千佳代、*安達 泰佑、*伊澤 真人、*相浦 誠一郎、*上田 幾大、*大林 英美、*小関 亮介、*喜多詰 規雄、*斎藤 一央、*塩沢 督、*高橋 知多香、*田中 みどり、*塚田 典功、*寺澤 秀朗、*中澤 弘貴、*中嶋 真樹、*中沼 邦欣、*長島 潔、*久松 弘幸、*船木 弘、*細谷 史規、*三浦 孝司、*村上 芳弘、*山浦 賀弘、*辻本 恭久、*三橋 純
教科書	歯内治療学 第5版 勝海一郎、興地隆史、石井信之、中田和彦、他 医歯薬出版
参考図書	エンドドンティクス 第5版 須田英明、中村洋、他 永末書店
評価方法 (EV)	平常試験①、②、実習試験による評価、原則的に追再試験は実施しない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 岡部：okabe.tatsu@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/06/04 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義①：歯内療法の原則	<p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 歯内療法の原則を説明できる。 歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 細菌検査を説明できる。 歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 根管長測定法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*岡部 達
2024/06/05 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習①：前準備、基本的概念 (1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 歯内療法で用いる器具を説明できる 歯内療法の基本的な器具操作ができる 根管拡大の概念を説明できる。 歯内療法の基本的な器具操作ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 譲滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/06/05 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習①: 前準備、基本的概念 (1)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	<p>* 菅原 陽子 * 菅原 千佳代 * 高瀬 俊彦 * 安達 泰佑 * 伊澤 真人 * 相浦 誠一郎 * 上田 幾大 * 大林 英美 * 小関 亮介 * 喜多 規雄 * 齋藤 一央 * 塩沢 督 * 高橋 知多 * 田中 みどり * 塚田 典功 * 寺澤 秀朗 * 中澤 弘貴 * 中嶋 真樹 * 中沼 邦欣 * 長島 潔 * 久松 弘幸 * 船木 弘 * 細谷 史規 * 村上 芳弘 * 山浦 賀弘 * 辻本 恭久 * 三橋 純</p>
2024/06/05 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習①: 前準備、基本的概念 (1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法で用いる器具を説明できる 3. 歯内療法の基本的な器具操作ができる 4. 根管拡大の概念を説明できる。 5. 歯内療法の基本的な器具操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	<p>* 岡部 達 * 神尾 直人 * 鈴木 誠 * 深井 讓 * 石井 理裕 * 渡邊 昂洋 * 倉持 光成 * 古谷 夏子 * 田中 治 * 小泉 郁佳 * 森川 加菜 * 松川 正 * 川島 田 * 吉田 陽子 * 菅原 千佳代 * 高瀬 俊彦 * 安達 泰佑 * 伊澤 真人 * 相浦 誠一郎 * 上田 幾大 * 大林 英美 * 小関 亮介 * 喜多 規雄 * 齋藤 一央 * 塩沢 督 * 高橋 知多 * 田中 みどり * 塚田 典功 * 寺澤 秀朗 * 中澤 弘貴 * 中嶋 真樹 * 中沼 邦欣 * 長島 潔 * 久松 弘幸 * 船木 弘 * 細谷 史規 * 村上 芳弘 * 山浦 賀弘 * 辻本 恭久 * 三橋 純</p>
2024/06/11 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義②: 歯内療法の基本概念と基本操作	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本概念と基本操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法で用いる器具を説明できる。 3. 歯内療法の基本的な器具操作ができる。 4. 根管拡大の概念を説明できる。 5. 根管洗浄の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式</p>	<p>* 岡部 達</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/06/11 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義②: 歯内療法の基本概念と基本操作	b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達
2024/06/12 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習②: 歯内療法の基本概念(2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根管形成の概念を説明できる。 3. 根管形成の基本的な器具操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 譲 *石井 滋 *渡邊 裕 *倉持 昂洋 *古谷 光成 *田中 夏子 *小泉 真治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/06/12 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習②: 歯内療法の基本概念(2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根管形成の概念を説明できる。 3. 根管形成の基本的な器具操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 譲 *石井 滋 *渡邊 裕 *倉持 昂洋 *古谷 光成 *田中 夏子 *小泉 真治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/06/18 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義③: 根管形成・洗浄・根管充填	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管形成・洗浄・根管充填を修得する。 【行動目標(SBOs)】	*深井 譲滋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/06/18 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義③：根管形成・洗浄、根管充填	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 根管拡大、形成の目的を説明できる。 3. 根管形成の術式を説明できる。 4. 根管洗浄を説明できる。 5. 根管充填の目的を説明できる。 6. 根管充填の時期を説明できる。 7. 根管充填法の種類を説明できる。 8. 根管充填材(剤)について説明できる。 9. 根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	* 深井 譲滋
2024/06/19 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習③：歯内療法の基本概念(3)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 根管充填の概念を説明できる。 3. 側方加圧充填ができる。 4. 歯内療法に関わるセメントの練和ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	* 岡部 達 * 神尾 直人 * 鈴木 誠 * 深井 譲滋 * 石井 理裕 * 渡邊 昂洋 * 倉持 光成 * 古谷 夏子 * 田中 眞治 * 小泉 郁佳 * 森川 加菜 * 松島 潔 * 川島 正 * 吉田 陽子 * 菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 詔 斎藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 眞樹 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 * 辻本 恭久 三橋 純
2024/06/19 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習③：歯内療法の基本概念(3)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 根管充填の概念を説明できる。 3. 側方加圧充填ができる。 4. 歯内療法に関わるセメントの練和ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具</p>	* 岡部 達 * 神尾 直人 * 鈴木 誠 * 深井 譲滋 * 石井 理裕 * 渡邊 昂洋 * 倉持 光成 * 古谷 夏子 * 田中 眞治 * 小泉 郁佳 * 森川 加菜 * 松島 潔 * 川島 正 * 吉田 陽子 * 菅原 千佳代 高瀬 俊彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/06/19 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習③：歯内療法の基本概念的(3)	<p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 香 塚田 みどり 寺澤 典功 中澤 秀朗 中嶋 弘貴 中島 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/06/25 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義④：歯髄・根尖歯周組織の検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄・根尖歯周組織の検査およびエックス線像の読み取りを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯髄・根尖歯周組織の病態を説明できる。 3. 検査の目的を説明できる。 4. 歯髄の検査を説明できる。 5. 根尖歯周組織の検査を説明できる。 6. 検査結果から歯髄・根尖歯周組織の病態を判断できる。 7. 歯根周囲の構造物とエックス線像の関係を説明できる。 8. 正常像と異常像の違いを説明できる。 9. 口内法で頬舌的位置関係の読影を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の病態</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*神尾 直人
2024/06/26 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習④：下顎小臼歯 (人工歯) の感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 下顎小臼歯にラバーダム防湿ができる。 3. 下顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 4. 下顎小臼歯の根管形成ができる。 5. 根管形成後の形態を説明できる。 6. 根管形成ができる。 7. マスターポイントの試適を説明できる。 8. 根管充填の目的を説明できる。 9. 根管充填ができる。 10. 根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 譲 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 真治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 香 塚田 みどり 典功

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/06/26 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習④：下顎 小白歯（人工歯） の感染根管治療	<p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/06/26 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習④：下顎 小白歯（人工歯） の感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 下顎小白歯にラバーダム防湿ができる。 3. 下顎小白歯のアクセスオープニングができる。 4. 下顎小白歯の根管形成ができる。 5. 根管形成後の形態を説明できる。 6. 根管形成ができる。 7. マスターポイントの試適を説明できる。 8. 根管充填の目的を説明できる。 9. 根管充填ができる。 10. 根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 譲 *石井 理滋 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古田 夏子 *吉田 真治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/07/02 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑤：歯髄 炎の臨床（歯髄除 去療法）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 3. 歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 4. 抜髄法の適応症、術式を説明できる。 5. 抜髄法の治癒機転を説明できる。 6. 除痛法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患</p>	*神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/07/02 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑤：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法）	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*神尾 直人
2024/07/03 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑤：下顎小白歯（人工歯）の感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.下顎小白歯にラバーダム防湿ができる。 3.下顎小白歯のアクセスオープニングができる。 4.下顎小白歯の根管形成ができる。 5.根管形成後の形態を説明できる。 6.根管形成ができる。 7.マスターポイントの試適を説明できる。 8.根管充填の目的を説明できる。 9.根管充填ができる。 10.根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 讓 *渡邊 裕 *倉持 昂 *古谷 洋 *田中 光 *小泉 成 *小泉 夏 *森川 真 *松島 治 *川島 郁 *吉田 佳 *菅原 菜 高瀬 俊 安達 彦 伊澤 泰 相浦 佑 上田 真 大林 誠 小関 一郎 喜多 規 齋藤 雄 塩沢 一 高橋 央 田中 多 塚田 香 寺澤 知 中澤 功 中嶋 秀 中沼 弘 長島 貴 久松 樹 船木 邦 細谷 欣 村上 潔 山浦 幸 *辻本 弘 三橋 規 純 久</p>
2024/07/03 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑤：下顎小白歯（人工歯）の感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.下顎小白歯にラバーダム防湿ができる。 3.下顎小白歯のアクセスオープニングができる。 4.下顎小白歯の根管形成ができる。 5.根管形成後の形態を説明できる。 6.根管形成ができる。 7.マスターポイントの試適を説明できる。 8.根管充填の目的を説明できる。 9.根管充填ができる。 10.根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<p>*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 讓 *渡邊 裕 *倉持 昂 *古谷 洋 *田中 光 *小泉 成 *小泉 夏 *森川 真 *松島 治 *川島 郁 *吉田 佳 *菅原 菜 高瀬 俊 安達 彦 伊澤 泰 相浦 佑 上田 真 大林 誠 小関 一郎 喜多 規 齋藤 雄 塩沢 一 高橋 央 田中 多 塚田 香 寺澤 知 中澤 功 中嶋 秀 中沼 弘 長島 貴 久松 樹 船木 邦 細谷 欣 村上 潔 山浦 幸 *辻本 弘 三橋 規 純 久</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/07/03 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑤:下顎 小白歯(人工歯) の感染根管治療	E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む) を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 瀬 泰佑 安 泰人 伊澤 真一郎 相浦 誠 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中長 邦欣 久松 潔 久松 幸 細谷 弘 村上 史規 山浦 芳弘 *辻本 賀久 三橋 純
2024/07/09 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑥:根尖 性歯周炎の臨床 (感染根管治療)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 3.根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 4.肉芽と不良肉芽について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、黒板、スライド 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む) を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、 処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	*松島 潔
2024/07/10 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑥:下顎 小白歯(人工歯) の感染根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得す る。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.下顎小白歯にラバーダム防湿ができる。 3.下顎小白歯のアクセスオープニングができる。 4.下顎小白歯の根管形成ができる。 5.根管形成後の形態を説明できる。 6.根管形成ができる。 7.マスターポイントの試適を説明できる。 8.根管充填の目的を説明できる。 9.根管充填 ができる。 10.根管治療の評価ができる。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/07/10 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑥：下顎 小臼歯（人工歯） の感染根管治療	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/07/10 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑥：下顎 小臼歯（人工歯） の感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 下顎小臼歯にラバーダム防湿ができる。 3. 下顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 4. 下顎小臼歯の根管形成ができる。 5. 根管形成後の形態を説明できる。 6. 根管形成ができる。 7. マスターポイントの試適を説明できる。 8. 根管充填の目的を説明できる。 9. 根管充填ができる。 10. 根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*岡部 達直 *神尾 真人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 真治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/07/17 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑦：実技 試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内実習①～⑥で学んだ手技ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p>	*岡部 達直 *神尾 真人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 真治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/07/17 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑦:実技試験		相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 小喜多 規雄 喜多 一央 齋藤 一督 塩沢 知多 高橋 香どり 田中 みどり 塚田 功朗 寺澤 秀典 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中長 邦欣 久島 潔 久松 幸弘 船木 弘史 細谷 規史 村上 芳弘 山浦 賀久 *辻本 恭 *三橋 純
2024/07/17 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑦:実技試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内実習①~⑥で学んだ手技ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 讓 *渡邊 理裕 *倉持 昂洋 *古谷 光成 *田中 夏子 *小泉 真治 *小森 郁佳 *川島 菜 *川島 潔 *吉田 正 *菅原 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 伊澤 泰佑 相浦 真人 上田 誠一郎 大林 幾大 小関 英美 小喜多 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 一督 高橋 知多 田中 香どり 塚田 みどり 寺澤 功朗 中澤 秀典 中嶋 弘貴 中長 真樹 久島 邦欣 久松 潔 船木 幸弘 細谷 弘史 村上 規史 山浦 芳弘 *辻本 賀久 *三橋 純
2024/07/23 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内平常試験①: 歯内講義①~⑥の 範囲	<p>【授業の一般目標】 歯内療法試験範囲:歯内講義①~⑥の範囲</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法試験範囲:歯内講義①~⑥の範囲</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *深井 滋 *川島 潔
2024/08/21 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑧:上顎 前歯(人工歯)の 根管充填、細菌検 査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.根管形成後の形態を説明できる。 3.根管形成ができる。 4.マスターポイントの試適ができる。 5.根管充填ができる。 6.細菌検査の目的を説明できる。</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 讓 *渡邊 理裕 *倉持 昂洋 *古谷 光成 *田中 夏子 *小泉 真治 *小森 郁佳 *川島 菜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/08/21 (水) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑧：上顎前歯（人工歯）の根管充填、細菌検査	<p>7.細菌検査ができる。 8.細菌検査を評価できる。 9.根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	<p>*松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/08/21 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑧：上顎前歯（人工歯）の根管充填、細菌検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.根管形成後の形態を説明できる。 3.根管形成ができる。 4.マスターポイントの試適ができる。 5.根管充填ができる。 6.細菌検査の目的を説明できる。 7.細菌検査ができる。 8.細菌検査を評価できる。 9.根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	<p>*岡部 達直人 *神尾 誠 *鈴木 滋 *深井 譲裕 *石井 理 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 佳菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/09/09 (月) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑦：新しい歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、最新の歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.Ni-Tiファイルを用いた根管治療を説明できる。 3.Ni-Tiファイルの特徴を説明できる。 4.顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の流れを説明できる。</p>	<p>*渡邊 昂洋</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/09/09 (月) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑦:新しい歯内療法	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ⑥歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*渡邊 昂洋
2024/09/09 (月) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑨:上顎前歯(人工歯)の根管充填、細菌検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.根管形成後の形態を説明できる。 3.根管形成ができる。 4.マスターポイントの試適ができる。 5.根管充填ができる。 6.細菌検査の目的を説明できる。 7.細菌検査ができる。 8.細菌検査を評価できる。 9.根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	*岡部 達直人 *神尾 誠 *鈴木 譲 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 眞樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 史規 細谷 芳弘 村上 賀弘 山浦 恭久 辻本 三純
2024/09/09 (月) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑨:上顎前歯(人工歯)の根管充填、細菌検査	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.根管形成後の形態を説明できる。 3.根管形成ができる。 4.マスターポイントの試適ができる。 5.根管充填ができる。 6.細菌検査の目的を説明できる。 7.細菌検査ができる。 8.細菌検査を評価できる。 9.根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p>	*岡部 達直人 *神尾 誠 *鈴木 譲 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/09/09 (月) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑨：上顎前歯（人工歯）の根管充填、細菌検査	<p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p>	田中 みどり 塚澤 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/09/24 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑧：外科的歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外科的歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 外科的歯内療法の意義を説明できる。 3. 外科的歯内療法の種類を説明できる。 4. 外科的歯内療法の適応を説明できる。 5. 外科的歯内療法を応用する理由を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯根、根管、歯周組織の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 g 外科的歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。</p>	*岡部 達
2024/09/24 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑩：上顎小臼歯の根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 4. 上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 譲 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 真治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 小野 多 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/09/24 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑩：上顎 小臼歯の根管治療	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/09/24 (火) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑩：上顎 小臼歯の根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 4. 上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/09/30 (月) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑨：歯内 療法における偶発 事故の予防と処置	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法中の偶発事故を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法時に起こりうる偶発症の種類を説明できる。 3. 歯内療法時に起こりうる偶発症への対応を説明できる。 4. 歯内療法時に起こりうる偶発症への防止法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 j 偶発症と安全対策 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*神尾 直人
2024/09/30 (月) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑪：上顎 小臼歯の根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 4. 上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/09/30 (月) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑩：上顎 小白歯の根管治療	<p>上顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	<p>*松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 詰 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/09/30 (月) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑩：上顎 小白歯の根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎小白歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎小白歯の根管形態を探ることができる。 4. 上顎小白歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	<p>*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 讓 *渡邊 理裕 *倉持 昂洋 *吉田 光成 *田中 夏子 *小泉 真治 *森川 郁佳 *松島 加菜 *川島 潔 *川島 正 *菅原 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 詰 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/10/07 (月) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑩：外傷 歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外傷歯に対する歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 受傷した歯の状態を説明できる。 3. 受傷した歯に対する歯内療法の対応を説明できる。 4. 歯根破折の原因と予防を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 外傷歯の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	<p>*神尾 直人</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/10/07 (月) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑪：外傷 歯の歯内療法	<p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 i 外傷歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 ③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*神尾 直人
2024/10/07 (月) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑫：下顎 大白歯の根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大白歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 3. 下顎大白歯の根管拡大・形成ができる。 4. 下顎大白歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 詰 規雄 斎藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 眞樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/10/07 (月) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑫：下顎 大白歯の根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大白歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 3. 下顎大白歯の根管拡大・形成ができる。 4. 下顎大白歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p>	<p>*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 詰 規雄 斎藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 眞樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/10/07 (月) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑫：下顎 大白歯の根管治療	E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/10/16 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑫：歯内 一歯周疾患	【授業の一般目標】 歯内療法の診断を適切にできるようになるために、歯内一歯周疾患を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内一歯周疾患を説明できる。 3. 歯内一歯周疾患の分類を述べられる。 4. 歯内一歯周疾患の成り立ちを述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法のエックス線検査を説明できる。 根尖性歯周炎の成り立ちを説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 c 歯内一歯周疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*神尾 直人
2024/10/16 (水) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑬：下顎 大白歯の根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大白歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 3. 下顎大白歯の根管拡大・形成ができる。 4. 下顎大白歯の根管充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/10/16 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑬：下顎 大白歯の根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大白歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 下顎大白歯のアクセスオープニングができる。 3. 下顎大白歯の根管拡大・形成ができる。 4. 下顎大白歯の根管充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/10/16 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑬：下顎 大白歯の根管治療	根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然 歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む） を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	* 吉田 陽子 * 菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中嶋 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 * 辻本 恭久 三橋 純
2024/10/21 (月) 10時限 10:40～12:10	歯内講義⑬：再根 管治療および歯根 吸収	【授業の一般目標】 再根管治療を行うにあたり適切に診断、処置ができるようになるために、根尖 性歯周炎の再発およびその処置を習得する。また、歯根吸収の原因、診断、処 置を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 再根管治療に至る原因を説明できる。 3. 再根管治療の適応を説明できる。 4. 再根管治療の問題点を説明できる。 5. 歯根吸収の原因が述べられる。 6. 歯根吸収のメカニズムを述べられる。 7. 歯根吸収の対応を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の治癒を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む） を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明でき る。	* 岡部 達
2024/10/21 (月) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑭：上顎 大白歯の根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手技を修 得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎大白歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎大白歯の根管口明示ができる。 4. 上顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習	* 岡部 達 * 神尾 直人 * 鈴木 誠 * 深井 讓 * 石井 理裕 * 渡邊 昂洋 * 倉持 光成 * 古谷 夏子 * 田中 眞治 * 小泉 郁佳 * 森川 加菜 * 松島 潔 * 川島 正 * 吉田 陽子 * 菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/10/21 (月) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑭：上顎 大白歯の根管治療	<p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/10/21 (月) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑭：上顎 大白歯の根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大白歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎大白歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎大白歯の根管口明示ができる。 4. 上顎大白歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理滋 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古田 夏子 *小泉 真治 *森川 郁佳 *松島 加菜 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/10/28 (月) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑭：根尖 未完成歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯根未完成歯に対して適切な歯内療法ができるようになるために、アペキシフィケーション、アペキシゲネーシスについて修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 根尖未完成歯の歯髄炎の処置を説明できる。 3. 根尖未完成歯の根尖性歯周炎の処置を説明できる。 4. アペキシゲネーシスの治癒機転を説明できる。 5. アペキシフィケーションの治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根尖未完成歯を説明できる。 歯髄の機能を説明できる。 セメント質、歯根膜の機能を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 f 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p>	<p>*神尾 直人</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/10/28 (月) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑭：根尖未完成歯の歯内療法	E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*神尾 直人
2024/10/28 (月) 3時限 13:10~14:40	歯内実習⑮：上顎大臼歯の根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎大臼歯の根管口明示ができる。 4. 上顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 讓 *渡邊 理裕 *倉持 昂洋 *古谷 光成 *田中 夏子 *小泉 眞 *森川 郁佳 *松島 加菜 *川島 潔 *吉田 正 *菅原 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規 齋藤 多 塩沢 一 高橋 督 田中 多 塚田 香 寺澤 知 中澤 み 中嶋 典 中沼 功 長島 秀 久松 弘 船木 貴 細谷 樹 村上 真 山浦 邦 *辻本 欣 三橋 潔 久 純
2024/10/28 (月) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑮：上顎大臼歯の根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 上顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 3. 上顎大臼歯の根管口明示ができる。 4. 上顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 讓 *渡邊 理裕 *倉持 昂洋 *古谷 光成 *田中 夏子 *小泉 眞 *森川 郁佳 *松島 加菜 *川島 潔 *吉田 正 *菅原 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規 齋藤 多 塩沢 一 高橋 督 田中 多 塚田 香 寺澤 知 中澤 み 中嶋 典 中沼 功 長島 秀 久松 弘 船木 貴 細谷 樹 村上 真 山浦 邦 *辻本 欣 三橋 潔 久 純
2024/11/07 (木) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑮：歯内療法の診療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、基本的な歯内療法の術式、器具操作を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法の処置の選択を説明できる。 3. 歯内療法の処置方針を説明できる。 4. 歯内療法の無窩処置を説明できる。	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/11/07 (木) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑮：歯内療法 の診療の流れ	5. 歯内療法の術式を説明できる。 6. 予後の評価を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な術式および器具操作を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。	*岡部 達
2024/11/07 (木) 3時限 13:10～14:40	歯内実習⑯：実習 実技試験	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ラバーダム防湿から根管充填までの一連の歯内療法の術式 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 詰 規雄 斎藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 眞樹 長島 邦欣 久松 潔 弘 幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀久 *辻本 恭久 三橋 純
2024/11/07 (木) 4時限 14:50～16:20	歯内実習⑯：実習 実技試験	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ラバーダム防湿から根管充填までの一連の歯内療法の術式 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 滋 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/11/07 (木) 4時限 14:50~16:20	歯内実習⑩:実習 実技試験		喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中長 邦欣 久松 潔 船木 弘幸 細谷 弘史 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/11/11 (月) 2時限 10:40~12:10	歯内平常試験②: 歯内講義⑦~⑮の 範囲	【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑦~⑮の範囲 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法	*岡部 達 *神尾 直人 *神邊 昂洋
2024/11/11 (月) 3時限 13:10~14:40	歯内実習:歯内療 法の治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法の無菌処置ができる。 3. ラバーダム防湿の装着ができる。 4. 安全な根管洗浄ができる。 5. ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 6. 適切なマスターポイント試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、マネキン、歯内療法で用いる器具 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中長 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘史 細谷 規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/11/11 (月) 4時限 14:50~16:20	歯内実習:歯内療 法の治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法の無菌処置ができる。 3. ラバーダム防湿の装着ができる。 4. 安全な根管洗浄ができる。 5. ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 6. 適切なマスターポイント試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、マネキン、歯内療法で用いる器具 【学修方略 (LS)】 実習	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/11/11 (月) 4時限 14:50～16:20	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/11/18 (月) 2時限 10:40～12:10	歯内講義：処置の選択	<p>【授業の一般目標】 診断から、適切な処置を選択できるようになるために、処置の目的を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法 of 適切な処置法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。 ⑥失活歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。 ⑦歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。</p>	*岡部 達
2024/11/18 (月) 3時限 13:10～14:40	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法 of 無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法 of 無菌処置ができる。 3. ラバーダム防湿の装着ができる。 4. 安全な根管洗浄ができる。 5. ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 6. 適切なマスターポイント試適ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法 of 無菌処置ができる。 歯内療法 of 基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法 of 用いる器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *松島 潔 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/11/18 (月) 3時限 13:10～14:40	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/11/18 (月) 4時限 14:50～16:20	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法は無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法は無菌処置ができる。 3. ラバーダム防湿の装着ができる。 4. 安全な根管洗浄ができる。 5. ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 6. 適切なマスターポイント試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法は無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治 *小泉 郁佳 *森川 加菜 *川島 正 *吉田 陽子 *菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 *辻本 恭久 三橋 純
2024/11/25 (月) 2時限 10:40～12:10	歯内講義：歯内療法の治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法は無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法は無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適でできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法は無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*岡部 達
2024/11/25 (月) 3時限 13:10～14:40	歯内実習：歯内療法の治療実技試験	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法は無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法は無菌処置ができる。 3. ラバーダム防湿の装着ができる。 4. 安全な根管洗浄ができる。	*岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *深井 讓 *石井 理裕 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *古谷 夏子 *田中 眞治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/11/25 (月) 3時限 13:10~14:40	歯内実習：歯内療法の治療実技試験	<p>5. ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 6. 適切なマスターポイント試適ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>* 泉川 郁佳 * 森川 加菜 * 松島 潔 * 川島 正 * 吉田 陽子 * 菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 * 辻本 恭久 三橋 純</p>
2024/11/25 (月) 4時限 14:50~16:20	歯内実習：歯内療法の治療実技試験	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法の無菌処置ができる。 3. ラバーダム防湿の装着ができる。 4. 安全な根管洗浄ができる。 5. ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 6. 適切なマスターポイント試適ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>* 岡部 達 * 神尾 直人 * 鈴木 誠 * 深井 滋 * 石井 讓 * 渡邊 理裕 * 倉持 昂洋 * 古谷 光成 * 田中 夏子 * 小泉 眞治 * 森川 郁佳 * 松島 加菜 * 川島 潔 * 川島 正 * 吉田 陽子 * 菅原 千佳代 高瀬 俊彦 安達 泰佑 伊澤 真人 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 小関 亮介 喜多 規雄 齋藤 一央 塩沢 督 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 久松 弘幸 船木 弘 細谷 史規 村上 芳弘 山浦 賀弘 * 辻本 恭久 三橋 純</p>